

先輩インタビュー

間中 未弥
スイミングインストラクター
入社：2年目



なぜイナホスポーツ入社を決めたのか？

大学での学びを活かせるスポーツ関連の仕事を探していた。その中で“水泳”は大学生活があったからこそ泳げるようになったので、一番学んだことを活かすことのできるスポーツだった。他の水泳企業と違い、“未経験でも活躍している”というところに惹かれた。

実際に指導している授業を見学した時に、先生たちが明るく元気だったこと・子ども達が楽しそうに泳いでいたこと・また私の見学を受け入れてくれた先生たちが優しく接してくれたことで、現場の雰囲気分かり一緒に働きたいと思った。

仕事のやりがいはなんですか？

大人も子供もできなかったことができるようになった時。同じように指導していてもできる子とできない子がいるので、その子に合わせた補助や言葉での伝え方が大切になる。どう伝えるとできるようになるのか試行錯誤しながら、それが上手く伝わってできるようになった時は教えていて良かったと思う。

体験に来てくれた子が「楽しかったからプール通いたい」と思って入会してくれた時。体験で楽しめなかったら水泳から離れた人生になるかもしれないところ、入会してくれたということは楽しいと思ってもらえるような授業ができたということだと思うから。

今後の目標や夢はなんでしょう？

- どのレベルの子たちでも楽しい授業を展開すること。
→年齢・泳法が高くなるにつれ、指導しなくてはいけないと身構えてしまって、笑顔が少ないと感じるため。毎回同じような練習を繰り返すだけでは上達しないし、少し変わった練習や次のステップの予習を混ぜたりすることで、楽しいと感じてもらえるのではないかなと思う。
- 子どもたちが大きくなった時“スイミングスクールで間中先生に教えてもらった”と覚えてもらえるような先生になること。
→プールを辞めたあとでも先生として覚えてもらえているということは、その子にとって何か影響を与えることが出来たということ。良い意味で影響を与えることができるように指導・コミュニケーションを取っていきたい。